

松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,
Bridging Continents

[第2651回例会]

会 報

No.2650

2010年10月20日発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2010年10月20日(水)

卓 話

「米山記念奨学会について」

島村俊充 会員

次回のプログラム

2010年10月27日(水)

卓 話

「アフリカ支援活動報告」

小川 一 会員

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

「新市立病院 建設について」

柳澤正敏 会員



6月13日の市長選挙で本郷谷氏が当選し、7月3日より市長が替わった事は、松戸市民には大きな衝撃でした。本郷谷新市長は、川井前市長が計画していた東松戸（紙敷）の新市立病院建設計画を白紙にし、現地建て替えにこだわりました。

そして新病院を、「救急」、「小児」、「周産期医療」の3科に特化して、不要な科を廃止し、現在の613床から450床に縮小して、現地に小さく建てれば、かかる経費も安くなり、赤字も少なくなると主張して居りました。我々、松戸市医師会は、現地建て替えは不経済で、出来あがるのに8年もかかり、しかもその間、収入は半減する事、又、何よりも現在の医師が大量に辞めてしまう事、そうなれば、新市立病院は建設着工前に崩壊してしまう事、だからこそ、「移転・新築・早期着工」の必要性を主張してきました。チラシや、ポスターをそれぞれの医療機関の待合室に貼ったり、配ったりするキャンペーンを始めました。

又、本郷谷新市長にもお会いして、病院の現在の規模や、機能は、少なくとも必要な事をお話しました。又、各派の市議員さん達にもお会いして、同様のお話をしました。松戸市立病院は、松戸市内だけではなく、東葛北部、南部のなかでは、3次医療を行える唯一の病院である事や、千葉県内でも数少ない重要な役目を持つ病院である事、を説明しました。

千葉県内の病院を整理してみますと、
「地域がん連携拠点病院」：12病院
「救急救命センター」：10病院
「小児医療連携拠点病院」：5病院 があります。
この3つを併せ持つ病院は、3病院しかありません。

千葉大学医学部付属病院（835床）
旭中央病院（956床）
松戸市立病院（613床）です。

しかも、他の2つの病院に比べますと病床数が一番少ない病院です。千葉大病院の統計学の専門家に言わせると、もう少し大きく作っておかないと、10年後、20年後に困る状態に成る、と言われて居ます。今後も、この地域の3次医療要望が見込まれ必要不可欠な病院である事。松戸市立病院が縮小し、2次医療病院に成れば、現在の医師たちは、6割から7割、すぐに退職し、医療崩壊に成ること

等を説明しました。

我々開業医は、1次医療をし、病院は1次と2次医療をし、市立病院が3次医療を扱う事により、この医療圏がうまく回り、救急車のタライ回しが無いこと、更には、2次医療病院からも年間、120件を超える患者さんを市立病院が引き受けている現状を説明して、市立病院の役割がいかに大きなものかをお話しました。その資料の一部が皆様に、本日お配りした物です。6月に、本郷谷市長さんには、我々医師会の執行部の話を聞いて頂き、又、公立病院の経営学を専門にしている、城西大学の、井関友伸準教授のお話と一緒に聞いて頂きました。7月には、本郷谷市長は自ら市立病院を訪れて、実際の建物の老朽化がひどく、早期に建て替えが必要な事を理解しました。市立病院の医師たちからは、現地に小さく建て替えると、今迄の機能は保てない事、医師達の大半は退職するという生の声を聞いて初めて現状を理解した筈です。

又、8月には、市立病院の総長と、院長を伴って、千葉大学医学部付属病院の院長と、5人の副院長（皆、それぞれ教授達です）から、松戸市立病院は東葛地区の重要な3次医療機関であり、小さく建てたりしたら、新病院に魅力が無くなり、多くの医師達は退職するでしょう。魅力のなくなった病院には千葉大からは医師の派遣は不可能である、と言い渡されたそうです。

それらの事があってから、本郷谷市長の発言は変わりました。9月の松戸市議会での施政演説では、新市立病院の、「規模と、機能は維持する、縮小しない」と明言しました。しかし、唯一、「現地建て替え」だけには、こだわると言っております。

専門的、技術的に可能か、どうかを検討する委員会を立ち上げ、検討したい。という事です。この議案も、9月の議会で議決され、検討する段階に入りました。

新市長は周辺の土地を買収して、建て替え可能ではないかと思って居る様です。しかし、不可能かも知れないと思い始めて居る様にも見えます。選挙公約は、「現地建て替え」でしたので、公約に拘っている様です。外部委員会から「現地建て替え」は不可能であると、決定してもらいたいのではないか、とも思われます。我々医師会は、東松戸の紙敷には、拘らず、「移転・新築」で、病院の規模・機能を維持出来れば、有難いと、思っています。出来るものなら、直近の運動公園が良いと思って居ります。外部委員会のメンバーからすれば、「移転・新築」の結論に成るような気がします。しかし、市長の本当の気持ちは分かりません。今後も我々医療人は、力を合わせ、東葛地区の医療を守る意味でも、移転・新築・早期着工を、主張して行きます。

皆様方の、ご支援をお願い、致します。

会 長 換 拶



伊原清良 会長

松戸中央ロータリークラブの鈴木章治様、ようこそ、お越しくださいました。どうぞゆっくりお過ごし下さい。松戸ロータリークラブ全軍躍動の感がしています。先週末には「安井克一会員」がガバナー補佐予定者会議に出席されました。もうすでに次年度が始まった訳です。

「小川一会員」がケニヤから帰国しました。お疲れさまでした。まさに《大陸をつなぐ》活動をされてきました。本日、「土屋亮平会員」は佐原ロータリークラブに、「中山政明会員」は柏ロータリークラブにそれぞれ講師として《職業奉仕》を語っています。

先週の理事会においては、「杉浦裕会員」には《音楽支援》の資金委員長に就任して頂きました。「小泉勝司会員」には《S A A》としてテーブル・マスター制度を導入して頂き、新入会員が毎週、色々なテーブルに着席します。席の固定化やマンネリ化を防止し、常に新鮮で良い緊張感を持つてではないかということであります。

個人的には本日先程10時より、戦前に私の祖父が注文して作らせたと思われる神棚かみだのお社を南花島にある父の家から本町の自宅へ移設し、松戸神社宮司の会長エレクト・「常盤映彦会員」に、魂を入れて頂く神事を執行して頂きました。

明後日の15日(金)には、第12分区のロータリー情報研究会が地区の主催で開催されます。松戸の他のロータリークラブと比較して、唯一、松戸ロータリークラブだけ例会振替をしないで臨みます。理由は新入会員が多くの卓話をこなしていかななくてはならないからです。

ロータリー情報研究会の役割分担表・テーブルマスター・発表者を指定して欲しい旨に対して、「松田茂一幹事」の答えは「松戸クラブのメンバーは誰に指名されても何でもできる。」と発言が強気でした。カミナリが鳴っても平気でパーが取れるくらいですから。

佐藤千寿せんじゆパストガバナーがおっしゃっています。「ロータリーというのは、とつても為になる。たくさんのいい人と知り合える。色々な勉強をす

ることができる。ロータリーは出席をうるさく言うけれども、出席は義務ではない。それは自分の為に貯金を作るのだ。出席すればその都度、「友達という貯金」ができる。然も有難いことに、このロータリー貯金帳はいくら引出して使ってもいっこう残高が減らない。」

お医者さんや弁護士先生と気楽に話せる会は多くはない。日給一万円の中小企業者でも、時給一万円の人たちと気軽に雑談できる。医者は忙しい、だからゴルフの飛距離は金で買うのですよ。裁判の話などは時としてまさに「事実は小説より奇なり」である。私が松戸ロータリークラブに入会した当時、何となく、職業奉仕はお医者さんにまかせて健康診断だけやっておけば良い。と言う空気が流れていたような気がします。

つい最近、テレビで医者不足を観ていました。岩手県の大病院の勤務医が夜間救急を含めて、48時間でなんと睡眠時間2時間という激務をこなしているという内容でした。松戸市でも問題がすぐそこにあるのだらうと思われます。健康でいる時は、健康のありがたさがわかりません。

私は大型の病院がきらいです。理由は私が中学1年生の秋、母が脳腫瘍で文京区本郷の東大病院で亡くなったからです。脳外科でした。消毒液のにおいを嗅ぐと思い出します。池袋の立教中学校に入学を許され、4月の入学式に真新しい制服で父と東大病院に行った時、反抗期だった自分はニコリともしなかったと記憶しています。なんで病気なの。私は松戸ロータリークラブの会員だった町山宏之さんや他に若くして亡くなった友人達を思い出し、「お大事に。」とか「頑張ってください。」とお見舞いするのが苦手です。トラウマになっているのでしょうか。母の23回忌か、33回忌の法事の時に、私をかわいがってくれた叔母から聞いた話です。点滴など無かった時代なので、のどから流動食を流していた母が叔母の手のひらにカタカナで「ムネン」と指で書いたそうです。もっと生きたいという「無念」なのか、母親として若くして子を残し旅立つ「無念」なのか、聞いた瞬間、涙が止めどもなく吹き出てきました。

最近、大澤親分が亡くなりました。「なあ、江夏。死ぬのも男の仕事だよ。」と言っていました。

本日の卓話は、「新市立病院建設について」というテーマ・柳澤正敏会員です。松戸医師会会長であり、日本で最初に心臓移植に挑戦した、札幌医大・和田教授と一緒に東京女子医大で仕事されたというキャリアをお持ちです。ロータリークラ

ブのクリスマス例会で柳澤先生の家族は不思議にピンゴ強く、サンタクロース役の田中忠行会員が騒いでいたことを思い出します。当時のクリスマス例会に参加し、ピンゴで賞品をゲットされたご子息たちも立派に医者になられているのだろうと楽しく想像しています。

終了の点鐘前に

松戸北ロータリークラブにメーキャップに行かれた草野進会員が当日の会報を私に持ってきてくれました。そこには次のように記されていました。

松戸ロータリークラブヘメーキャップの勉強会

9月15日の水曜日に当クラブから4名が松戸ロータリークラブヘメーキャップの勉強会に出席しました。創立53年の実績のあるクラブで現在53名の会員数を有し伝統的で品格がありました。有意義な勉強会となりました。……

幹 事 報 告



松田茂一 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内
特にございません。
2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

10月15日(金)ロータリー情報研究会があります。

3. 他クラブ会報・その他
特にございません。
4. 例会変更の連絡
特にございません。
5. その他報告
特にございません。

お 祝 い



【結婚】橋口夫妻 10日



例 会 報 告

[例会写真]



島村(俊)会員



小川会員



浅井会員



松葉会員

[出席報告]

会員53名	義務会員44名	免除会員 9名
出席44名	義務会員38名	免除会員 6名
仮欠 9名	義務会員 6名	免除会員 3名

[欠席者]

中山 政明君	島村 善行君	織田 信幸君
奥村 祐二君	申 澈権君	飛田 勤君

[M U]

常盤 映彦君 宇都宮南 R C

本日出席率 88.0%

[お客様]

鈴木 章治様 松戸中央 R C

ニ コ ニ コ B O X

常盤映彦君 / 会議がありますので早退致します。
橋口和幸君 / 結婚記念のお祝いありがとうございました。おかげ様で今年で丸18年目を迎える事が出来ました。今後共よろしくお願い申し上げます。
小林 登君 / 所用のため早退させていただきます。
下田由起男君 / 誕生日のお祝いをいただきまして、ありがとうございます。クラブと同じ54才になりました。

ニコニコBOX	当日 ¥ 12,000	累計 ¥ 388,000
財 団BOX	当日 ¥ 3,915	累計 ¥ 57,398

文責 / 三国